

# 病児室だより

R3年10月第4号



## 病児保育の日々

枯葉も目立ち、秋の足音が聞こえ始め、朝・昼の寒暖差を感じるようになりましたね。  
 コロナ感染も中々収束せず不安な日々が続いていますが、手洗い、手指消毒など感染症対策を行いながら、元気に過ごしていきましょう。今回は、秋に流行する病気をご紹介します。

コロナ感染症が収束しない中で普段と違うピリピリした日々を過ごしています。でも、笑顔を忘れず感染予防に務めながら活動しているこの頃です。

受け入れ時、ママとのお別れが悲しく不安で泣いてしまうお友達も多いですが、部屋に入り抱っこしているうちに、落ち着き、遊具を見つけ、体調が良いと「ブロックで遊びたい」、「アンパンマンが見たい」など保育者に伝えてくれます。最近、感冒の他に、持病で食物アレルギーや喘息、川崎病等で内服しているお友達のご利用がありますが、給食やおやつ等注意事項に気を付けながら病状観察をこまめに行い父兄の方も安心して預けられる病児保育を心がけています。



そろそろです！

インフルエンザの予防接種の時期です。病院では予約も始まったとか？  
 早めに計画を立て、接種をしましょう。

### 8月・9月の利用状況

8月は11名、9月は6名の利用がありました。主に感冒・RSウイルスでの利用でした。



### ちょっとした豆知識

熱等出た場合、RSウイルス感染症を診断するため、検査をするのですが…。

1歳未満は、重症化しやすい為、無料で検査が行われますが1歳以上になると、検査を行うのに料金が発生！

病院によって金額も違いますので、もしかしてという方は、受診の際に先生に聞いてから検査を検討してみるのも、いいかもしれませんね。



	マイコプラズマ肺炎	RSウイルス感染症
症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>発熱、倦怠感、頭痛、喘鳴。</li> <li>3~4週間続く咳</li> <li>幼児では鼻水も多い</li> <li>通常は3週間程度で自然治癒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発熱(ない症例もある)</li> <li>咳、喘鳴、鼻水</li> <li>月齢が低い程、肺炎を合併しやすい。</li> <li>1歳以下では中耳炎を合併しやすい。</li> <li>通常は1週間程度で軽快する。</li> </ul>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児では、症状が軽く済む場合が多い。</li> <li>軽症の場合、気付かれなまま親や兄弟へうつすことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生後1ヶ月未満児が感染した場合は、無呼吸に注意。</li> <li>新生児、早産児、先天性心疾患など基礎疾患がある子どもの場合は重症化のリスクが高い為注意。</li> </ul>
受診のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸が苦しそう</li> <li>ゼーゼー、ヒューヒューなどの音がして眠れない</li> <li>水分、食事がとれない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>咳が長引いている</li> <li>咳以外に発熱、鼻水などの症状がある</li> <li>眠れているが咳が出る</li> <li>上記の症状はないが、気管支が弱い、ぜんそく気味と言われたことがある</li> </ul>

時間外でも受診する

時間内に受診する